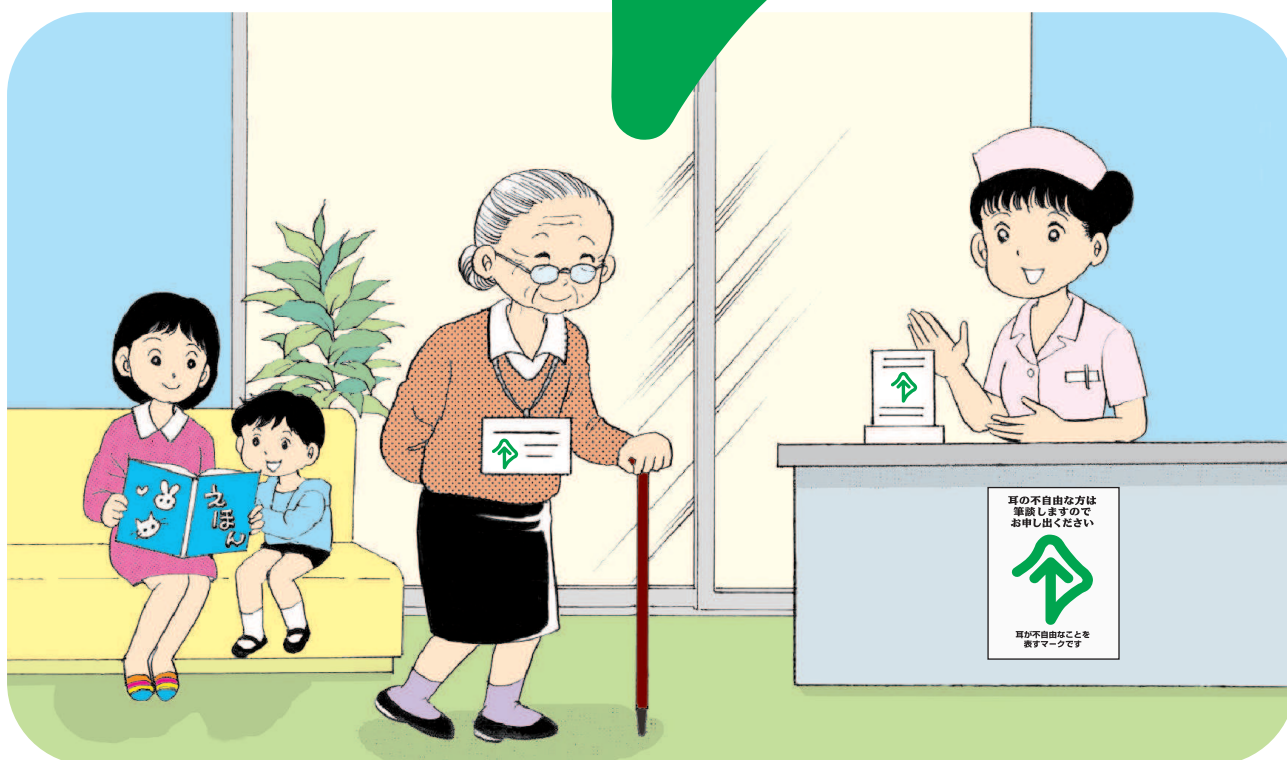
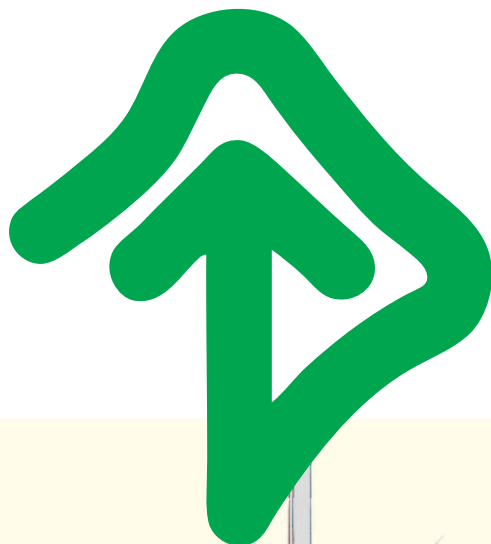


耳マーク

耳マークは、耳の不自由なことを表すマークです。



◎耳マーク普及の趣旨◎

- 聴覚障害者の存在をアピールするために。
- 誤解されたり、病院などで後回しにされたり、危険な目にあわないために。

このマークは「**耳が不自由です**」という自己表示が必要ということで考案されたものです。この形は、耳に音が入ってくる様子を矢印で示し、一心に聞き取ろうとする姿をイメージしています。すべての聞こえない・聞こえにくい人々にとって聞こえの向上、保障を求めていく積極的な生き方の象徴でもあります。

「耳マークグッズ」のご案内

(耳マークグッズは緑が基本色)

◎表示板用カード、表示板用台、ポスター

☆どちらも、病院・役所・店舗などの受付にご利用いただけます。

●表示板用カード・台



ステンレス台 (左) プラスチック台 (右)

●ポスター



ポスター (左) 表示板用カード (右)

◎表示板用カード 1枚 200円

・はがきサイズ (縦 15.3cm×横 11.1cm)、ラミネート加工

◎表示板用台 1個 100円

・ステンレス、プラスチック

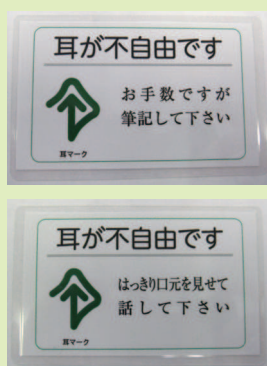
◎表示板セット (カード+台) 1組 300円

◎ポスター (A3 サイズ) 1枚 100円

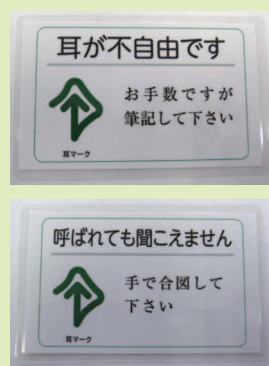
◎カード、ホルダー付カード、バッチ

☆耳が不自由なことを見て理解して頂くためのものです。

●カード A



●カード B



●ホルダー付カード



使用例

●バッチ



◎カード (A・B) <縦 6cm×横 9.5cm> 各 200円

◎ホルダー付カード (A・B) 各 400円

◎バッチ 1個 615円

◎ストラップ、シール、自転車・自動車用ステッカー

☆ストラップはキーホルダーとしてもお使いいただけます。

☆シールは診察券・通帳・カードなどに貼って利用して頂くものです。

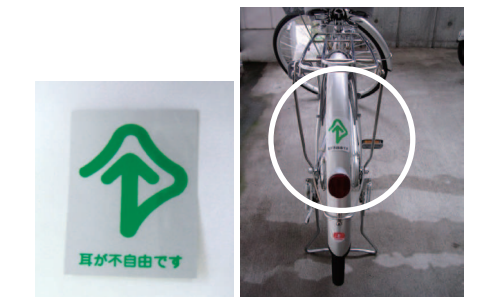
●ストラップ



●シール



●自転車用ステッカー



●自動車用ステッカー



※車用は内側から貼るタイプです。

◎ストラップ (29mm) 1個 400円

◎シール (2cm×2.7cm) 1シート 100円

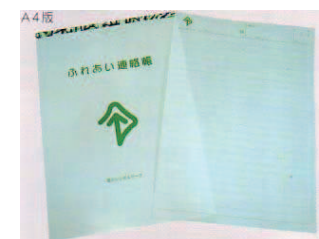
※10枚で1シート

◎自転車用ステッカー (7cm×5cm) 1枚 200円

◎自動車用ステッカー (16cm×13cm) 1枚 200円

◎FAX 連絡帳、メモ帳

●FAX 連絡帳 (A4 版・A5 版)



A4 版



A5 版

※A5 版は
ノートとペン柄、
ぞうさん柄の
2種類あります。

●メモ帳 (A6 版)



※「筆記でおねがいします」の
文章が入っています。

◎FAX 連絡帳 (A4 版・100 枚綴り) 1冊 300円

◎FAX 連絡帳 (A5 版・100 枚綴り) 1冊 200円

◎メモ帳 (A6 版・100 枚綴り) 1冊 150円

※いずれも郵送の場合は送料を別途ご負担いただきます。

ご注文頂いた後、品物と一緒に請求書・振込用紙を同封します。

◇ 耳マークの利用方法

- シール → 診察券・カルテ・通帳などに貼る
- カード → 窓口などで話す前に提示する
- メモ帳 → 用件を書いて出すと、相手にも筆談してもらいやすい

これらと併用して「**バッチ**」や首から提げる「**カードホルダー**」などをつけるのも効果的です。

「**耳マーク表示板**」は例として、病院・医院・役所・銀行・郵便局、福祉会館など、多くの場所に設置されています。

◇ 耳マークの歴史

● 耳マーク発案者 高木 四郎氏（名古屋市 平成 13 年 3 月没）

● 耳マークデザイン 星野 善晃氏（名古屋市）

- 昭和 50 年 10 月 名古屋市が「耳のシンボルマーク」と制定。
以後、愛知・岡山・京都・高知などに「標示物」として制定され、広がっていく。
- 昭和 51 年 5 月 日身連札幌大会で、全国統一を提案決定。
- 昭和 53 年 10 月 京都市で開催された政令都市大会でも採用され、11 月には名古屋市で開催の第 1 回全難聴福祉研究大会で、全国統一を提案。
- 昭和 54 年 5 月 日身連京都総会で、耳マーク全国統一議案が可決され、厚生省（今の厚生労働省）、その他へ陳情する。
- 昭和 62 年 8 月 基準マーク全種類をカラー印刷し、全難聴加盟協会に普及運動資料として配布する。
- 昭和 63 年 5 月 全難聴重点目標として、耳マーク普及の完全実施を承認する。
- 平成 15 年 7 月 文化庁に著作権譲渡の登録を完了。
(全難聴が責任をもって啓発していますが、全難聴のマークではありません)

以後、表示板セット・シール・カード・FAX 用紙などの耳マークグッズを作成し全難聴福祉大会、女性大会、加盟協会の行事などを通して耳マークの普及に努めています。

全国的に行政や病院、一般企業の窓口で「耳マークの表示板」の設置が急速に進められていますが、私たち中途失聴・難聴者が「自分は聴覚障害者である」ということを何らかの形で表さなければ、表示板設置の趣旨が生かされません。行政窓口や一般の健聴者にも理解出来るよう広めて行きましょう。

❖ご注文は地域の加盟協会へ

◎お問い合わせ

(一社) 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
(略称 全難聴)

〒162-0066

東京都新宿区市谷台町 14-5

MS ビル市ヶ谷台 1 階

FAX 03-3354-0046 TEL 03-3225-5600

Mail: zennancho@zennancho.or.jp

<http://www.zennancho.or.jp/>